

資料室



HOME | 資料室 | 労働者福祉・共済 | 教育カリキュラム | 労働者自主福祉運動のすすめ (12)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

協同組合

労福協

労働金庫

全労済

県生協連

勤労者信用基金協会

年金福祉協会

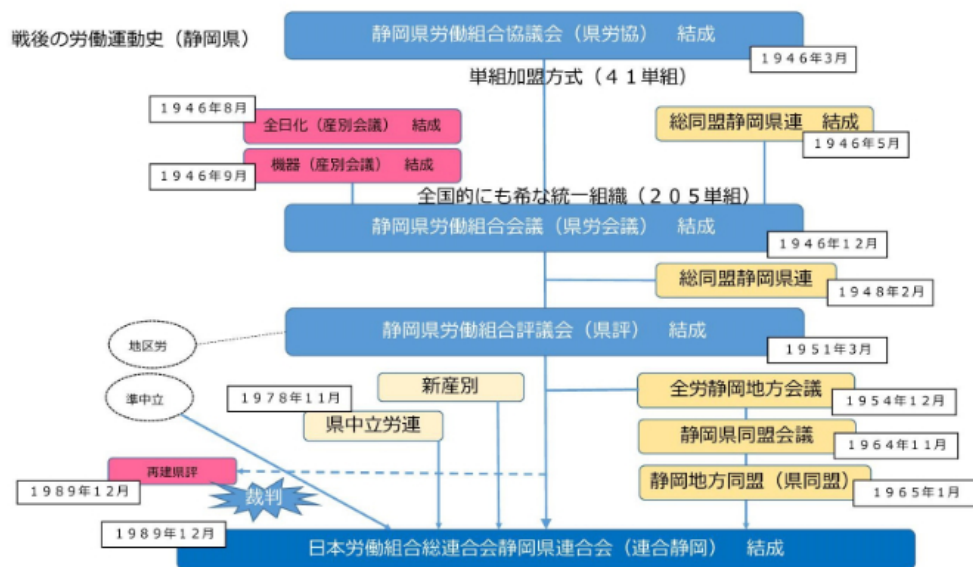
福祉基金協会

ユニオントラベル

教育カリキュラム

労働者自主福祉運動のすすめ (12)

戦後の労働運動史 (静岡県)



🔍 キーワード検索はこちら

労働問題が社会一般の注目を浴びようになるのは、日清戦争後、特に日露戦争後でした。記録に残る最も早い時期の争議として、1882年に志太地域の製茶労働者が賃上げ要求からストライキを計画したことが挙げられています。近代的意味での労働組合ではないとしても、職工・労働者団結への第一歩となりました。高野房太郎らが職工義友会を結成した1897年は、静岡県にとっても近代的な労働運動、労働争議の出発点となりました。

第二次大戦で解散を余儀なくされた労働組合は、敗戦による労働者民主化政策に助けられて、続々と復活を遂げていきます。県下でいち早く結成されたのは、1945年9月の日本楽器天竜工場労働組合、次いで1945年11月の日本軽金属蒲原工場労働組合でした。

1946年3月、県下で戦後最初の全県的労働組合組織である「静岡県労働組合協議会（県労協）」が誕生、12月には県労協を拡大発展させた「静岡県労働組合会議（県労会議）」を結成します。中央や他県では総同盟系と産別会議系に分裂して結集しましたが、静岡県の場合は戦前以来の分立状態を乗り越えて県組織を一本化しました。今思えば、この統一化の動きがのちのちの“福祉はひとつ”の運動に大きく貢献したのと考えられます。

1947年に計画された官公労働者の生活確保要求は、吉田内閣打倒の政治闘争に発展したため、計画されていた「2・1ゼネスト」は、マッカーサー命令で中止されます。この年の7月、政令により「公務員の団体交渉権と争議権」が剥奪されます。

このゼネスト中止は、県下労働組合での共産党の組織活動にも大きな影響を与えました。
1948年の総同盟県連の脱退を機に、県下の労働運動は再び「産別会議系」と「総同盟系」に明確に分裂していき、県労会議は事実上壊滅状態になります。

1950年、民主化の運動勢力は中央の「総評」創立を受けて、総評の県組織結成に動き出します。
「総同盟県連」は解体し県評に合流、11月には「静岡県労働組合評議会（県評）」が発足します。

労働運動の左翼路線への対抗という形で結成された総評ですが、結成後まもなくから急速な左旋回を遂げていきます。

総評の左旋回に批判的な勢力は相次いで脱退し、1954年4月「全日本労働組合会議（全労会議）」を結成し、県下でも1954年12月に「全労静岡」が発足しました。

「全労会議」は発展的に解消し、1964年11月「全日本労働総同盟（同盟）」が結成されます。
県下でも「静岡県同盟会議」を経て、1965年1月「静岡地方同盟（県同盟）」が発足しました。

労働界再編は、民間主導の統一運動から起こりました。

1982年には「全日本民間労働組合協議会（全民労協）」が結成され、1987年に「全日本民間労働組合連合会（連合）」が発足します。

同盟と中立労連は解散しましたが、総評は解散しておらず、いくつかの組合は総評と連合との二重加盟状態となりました。

総評では中央レベルで官民統一・総評解散準備が急ピッチで進められ、1989年11月「日本労働組合総連合（連合）」が誕生します。

連合結成に批判的な勢力は「全労連」「全労協」を立ち上げていきました。

県下でも1989年12月「連合静岡」が誕生します。

県評内の連合批判勢力は、県評の解散大会の無効を主張し裁判闘争となります。

そして反対勢力（全労連・全労協）を含めて、県評の再建大会を開催し「再建県評」を立ち上げます。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

[📍 サイトマップ](#) [📄 このサイトについて](#) [🔒 個人情報保護の取組みについて](#)

[🏠 ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.